

科目名 (科目番号)	診療画像技術学Ⅱ (時間割参照)	教員名 井出 仁勇	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	木・3 B314研究室	
授業概要	臨床現場における画像診断は、X線単純撮影を基本に多岐にわたる。本講義では、X線単純撮影、CT、MRI、血管撮影、X線透視画像、超音波検査など各モダリティにおける画像読影法を学習する。臨床症例を題材に、病変の画像所見や各モダリティにおける画像の特徴を理解し、関連画像の考え方や治療前後の画像評価について学ぶ。さらに、過去の診療放射線技師国家試験問題および類似問題を解説し、国家試験対策としての実践力を養うことを目指す。						
目的・目標	目的:近年、診療放射線技師国家試験では、総合的な画像診断の知識を必要とする問題が増加している。そのため、医学的な内容に加え、各モダリティにおける画像の読み方、症例によっての関連画像の考え方、さらにIVRによる治療への応用について理解し、臨床現場で求められる多岐にわたる知識の習得を目指す。 目標:①基本的な病変と各モダリティにおける画像の特徴を理解する。②画像診断における治療前後の画像の確認方法を習得する。③臨床に即した症例を通じて、総合的な画像診断の知識を深める。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	頭部疾患の画像診断の特徴と読影のポイント	到達目標:頭部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:頭部疾患の一般撮影画像、CT・MR画像の読み方について学習する				
	2	頭頸部疾患の画像診断の特徴と読影のポイント	到達目標:頭頸部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:頭頸部疾患の一般撮影画像、CT・MR画像の読み方について学習する				
	3	胸部疾患の画像診断の特徴と比較読影のポイント①	到達目標:胸部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:胸部疾患の一般撮影画像、CT、MR画像の読み方について学習する				
	4	胸部疾患の画像診断の特徴と比較読影のポイント②	到達目標:胸部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:胸部疾患の一般撮影画像、CT、MR画像の読み方について学習する				
	5	腹部疾患の画像診断の特徴と比較読影のポイント①	到達目標:腹部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:腹部疾患の一般撮影画像、CT、MR画像の読み方について学習する				
	6	腹部疾患の画像診断の特徴と比較読影のポイント②	到達目標:腹部疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:腹部疾患の一般撮影画像、造影撮影、CT、MR画像の読み方について学習する				
	7	骨盤領域の画像診断の特徴と比較読影のポイント	到達目標:骨盤内疾患の総合画像診断のポイントを理解する 学習内容:骨盤内・下腹部疾患の一般撮影画像、造影撮影、CT、MR画像の読み方について学習する				
	8	脊椎・上肢・下肢の画像診断の特徴と比較読影のポイント	到達目標:脊椎・上肢・下肢疾患の総合画像診断のポイントを理解する。 学習内容:脊椎・上肢・下肢疾患の一般撮影画像、CT、MR画像の読み方について学習する				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	資料を配布						
参考図書	診療放射線技師画像攻略テク・ナビ・ガイド		福土政広 高橋満弘 村松博之 他		MEDICALVIEW		
教員からのメッセージ	オンライン授業への移行等により授業計画に変更が生じる場合は、Googleクラスルーム等の学習管理システムを通じて変更後のシラバスを提示する。オンライン講義形式では、同時双方向型(ライブ授業)、オンデマンド型(録画配信)、課題学習型・資料配布型を組み合わせたハイブリッド形式を採用する。本講義は、病院で勤務した診療放射線技師がこの授業を担当する。						